

平成 30 年度  
大田区自立支援協議会  
活動内容中間報告書

大田区自立支援協議会第 2 回本会

平成 30 年 10 月 26 日（金）開催

- 今年度の運営会議について—中間報告—…………… P. 1
- 専門部会…………… P. 2～P. 11
  - 相談支援部会…………… P. 2～P. 3
  - 防災部会…………… P. 4～P. 5
  - 就労支援部会…………… P. 6～P. 7
  - こども部会…………… P. 8～P. 9
  - 地域移行・地域生活支援部会…………… P. 10～P. 11
- 「全体合同部会」について…………… P. 12～P. 18
  - 「全体合同部会」の報告…………… P. 12
  - 「全体合同部会」参加者アンケート集計…………… P. 13～P. 18

## 今年度の運営会議について—中間報告—

運営会議は会長、副会長、各専門部会長、各部会の事務局担当者（各専門部会長を補佐）から構成される昨年度から協議会内に設置された会議体です。

今年度最初の運営会議は4月20日の第1回本会終了後に開催されました。その中で、運営会議を本会前に開催し本会の議事内容や進行方法等を検討すること、各専門部会の情報共有や協議会全体に係る議論等を行うため必要に応じて開催することを確認しました。そのうえで、今年度の協議会の目的をより具体化していくため限られた時間で効率的かつ実効性のある活動を行うにはどうしたらよいかを検討しました。

その結果、今年度は「きなりのくらしへ～つながる、わたす、ひろげる～」というキャッチフレーズのもと「石橋をたたいたら渡ろう。それぞれの「一歩」で」（課題について具体的な検討と解決に向けた協働の取組みを進める）、「委員（のみ委員を含む）一人ひとりの「糸」のつながる先を増やし、つながった糸を太くしていく」（地域の関係機関による連携体制：ネットワークを構築していく）ことが確認されました。

これらを実行に移していくための方法として、①複数の部会による合同部会（部会間で共通する課題について検討を行うもの）、②「全体合同部会」（今年度初の試みとなるもので、のみ委員も含め全ての委員が一同に会するもの）の開催について話し合いを行いました。

第3回は拡大運営会議とし、ご協力いただけるのみ委員の方にもご参加をいただき「全体合同部会」の実施に向けての準備と調整を行いました。「全体合同部会」に参加していただいた委員の方々にそれぞれの所属する部会に“おみやげ”を持ち帰っていただき、それらについて各部会で話し合われた内容を再度持ち寄って討議する場が必要であるとの声が上がりました。そこで、第2回本会ではこれまで行っていた各部会の上半期の活動報告は行わないこととし、討議のための時間を設けることとしました。この変更により第3回本会で各専門部会の年間を通しての活動状況をまとめて報告していただくことになりました。

本日の第2回本会では、「全体合同部会」に参加された委員の皆様と“部会を超えて委員同士が交流することにより感じたことや気づいたこと、所属する部会での活動に反映できそうなこと、次回開催に向けて思うこと等”について意見交換が行われることと思います。第2回本会終了後に予定しております第5回運営会議では本日話し合われたことを今後の各部会での取り組みや協議会運営の参考にしていきたいと考えています。

下半期の協議会活動をより実りあるものとし、その成果と積み残された課題を次年度に引き継いでいけるよう運営会議の場を有効に活用し、次年度協議会の方向性を視野に入れつつ検討を行っていく予定です。

大田区自立支援協議会 会長 白井 絵里子

活動内容報告書

<開催経過と内容>

日時	主な内容
第1回 5月23日(木) 10時00分～12時00分 (於:さぼーとびあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年度の相談支援部会の経過の共有</li> <li>● 平成30年度の検討課題について</li> <li>● 今年度の相談支援部会のスケジュールの確認</li> <li>● 合同部会開催について</li> </ul>
第2回 6月20日(水) 9時30分～12時00分 (於:さぼーとびあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● おおた障がい施策推進プラン進捗状況の確認について</li> <li>● 個別支援会議の検討①                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護保険サービスと障害福祉サービスを併用する際に、高次脳機能障害のある方が置かれている地域の状況」</li> <li>・グループ別に事例検討、意見出し後、全体共有</li> </ul> </li> </ul>
第3回 7月25日(水) 9時30分～12時00分 (於:さぼーとびあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別支援会議の振り返り                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ別に、抽出された課題の解決策を検討</li> <li>・グループごとに検討内容を報告</li> </ul> </li> <li>● 相談支援体制の検討</li> </ul>
第4回 10月3日(水) 9時30分～12時00分 (於:さぼーとびあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別支援会議                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決策の具体的な方法の検討</li> </ul> </li> <li>● 合同部会を終えて</li> <li>● 中間まとめ・第2回本会にむけて</li> <li>● 相談支援体制について                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援体制の課題検討</li> </ul> </li> </ul>

作業部会開催日: 5月28日(月)、7月4日(水)

【今年度の課題】

①複数の要素を取り入れた事例を用いて、個別支援会議を開催し、  
地域課題を抽出する

②大田区の相談支援体制の検証を行う

①について

高次脳機能障害、介護保険と障害福祉サービスの併用事例をもとに、地域課題を抽出した。

就労支援部会、地域移行・地域生活支援部会委員に参加を呼びかけ、計 9 名参加  
高次脳機能障がい者支援に携わる区内の支援者に呼びかけ、5 名参加  
家族会、当事者に呼びかけ、計 4 名参加



様々な立場の方にオブザーバー参加してもらったことにより、より多くの角度から課題の抽出をすることができた。課題を時間軸・社会資源から分析し、「すぐ取り組めること」「時間をかけて行うこと」に分類し、具体的に行えることを話し合った。

②について

相談支援の中核的な存在である「基幹相談支援センター」の運営状況を説明した。

現在の大田区の相談支援体制の状況について確認し、どんな課題があるかを検討した。

【後半への取組み】

- ・介護保険と障害福祉サービスに携わる支援者の連携を課題とした個別支援会議を行う。
- ・介護保険関係の支援者に、個別支援会議のオブザーバー参加を依頼する。
- ・大田区の相談支援体制の現状を分析するとともに課題を抽出し、解決に向けて取り組む。

大田区自立支援協議会 防災部会

活動内容報告書

<開催経過と内容>

日 時	主な内容
第1回 5月22日(火) 13時00分～15時00分 (於: さぼーとびあ 集会室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年度の振り返りと今年度の進め方について</li> <li>● 検討課題について</li> <li>● 年間スケジュールについて</li> <li>● 情報発信! 共有シートについて</li> </ul>
第2回 6月19日(火) 13時30分～15時30分 (於: さぼーとびあ 集会室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間議題の再確認</li> <li>● 防災訓練への参加・協力の検討</li> <li>● 学習会開催の検討</li> <li>● ヘルプカード 評判や意見の集約について</li> </ul>
第3回 7月23日(月) 13時30分～15時30分 (於: さぼーとびあ 多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合防災訓練への参加の検討</li> <li>● 学習会の内容検討</li> <li>● 全体合同部会への参加及び内容について</li> <li>● 放課後等デイサービスへのアンケートについて</li> </ul>
第4回 8月29日(火) 13時30分～15時30分 (於: さぼーとびあ 集会室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合防災訓練への参加の検討</li> <li>● 特別出張所との連携について</li> <li>● 学習会の内容検討</li> <li>● 放課後等デイサービスや移動支援事業所へのアンケートについて</li> </ul>
第5回 9月18日(火) 13時30分～15時30分 (於: さぼーとびあ 集会室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 羽田地区総合防災訓練への参加について</li> <li>● 特別出張所との連携について</li> <li>● 全体合同部会の振り返り</li> <li>● 学習会の内容検討</li> <li>● こどもネットワーク会議へのアンケートについて</li> </ul>
第6回 10月16日(火) 13時30分～15時30分 (於: さぼーとびあ 集会室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鵜の木地区、馬込地区総合防災訓練の参加について</li> <li>● 特別出張所との連携</li> <li>● 学習会の内容確認</li> <li>● 第二会本会報告の確認</li> <li>● こどもネットワーク会議へのアンケートについて</li> </ul>

作業部会開催日: 5月18日(金)、6月5日(火)、7月2日(月)、8月16日(木)、  
9月13日(木)、10月2日(木)

<防災訓練への参加>

日 時	名 称	参加状況
9月24日(月祝) 10時00分～14時00分	大田区総合防災訓練 (羽田地区)	協議会関係者: 8名 区職員: 2名
10月21日(日) 9時30分～12時00分	大田区総合防災訓練 (鵜の木地区)	協議会関係者: 2名 区職員: 2名
10月28日(日) 予定 9時00分～12時00分	大田区総合防災訓練 (馬込地区)	協議会関係者: 3名 区職員: 2名

### 【防災部会の活動】

防災部会は当事者、家族の参加が多いのが特徴です。“防災”という大きなテーマであり、身近課題でもあることに取り組んでいます。地域住民として障がいのあるひとが、自分たちの問題として何ができるのかという視点で意見を出し合っています。まずは「知ってもらうことから！」ヘルプカードを袋に詰めて、総合防災訓練や地域防災訓練に出かけています。

### 【今年度の取り組み課題】

#### 【課題 1】 地域との連携

- ① 総合防災訓練のブース参加 \*ヘルプカードの配布、活用について
- ② 地域の防災訓練への参加

#### 【課題 2】 学習・情報発信の継続 ～「誰もが被災者になる」視点で～ 地域防災計画の必要性 地域防災についての講演会の開催

#### 【課題 3】 福祉避難所開設訓練への協力

#### 【課題 4】 ヘルプカード 評判や意見の集約

#### 【課題 5】 今年度取組成果の共有、継続課題の次年度への引き継ぎ

### 【前半の活動報告】

- 【6月】 6月4日 東京都自立支援協議会への参加
- 6月5日 糀谷中学校 学校防災訓練の見学
- 【7月】 7月23日 サポートセンター自衛消防訓練の見学
- 7月27日 矢口特別支援学校 福祉避難所開設準備訓練見学参加
- 【8月】 8月28日 東京都地域自立支援協議会交流会 参加
- 【9月】 9月24日 総合防災訓練（羽田地区）参加
- 【10月】 10月13、14日 ぼうさいこくたい 2018 参加
- 10月15、16日 みんなのアレルギーEXPO2018、  
災害時の住環境・生活環境EXPO2018 見学
- 10月21日 総合防災訓練（鵜の木地区）参加
- 10月28日 総合防災訓練（馬込地区）参加予定
- 10月29日 学習会 防災ワークショップ～鍵屋先生を招いて～

### 【後半の活動予定】

- \* 地域防災訓練への参加—嶺町地区町会、大森第3中学校防災訓練
- \* 防災に関するアンケート実施予定—児童発達地域ネットワーク会議、  
移動支援事業所、GH連絡会

活 動 内 容 報 告 書

<開催経過と内容>

日 時	主な内容
第1回 5月21日(月) 15時00分～17時00分 (於：蒲田地域庁舎小会議室2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各委員・各ネットワーク・事務局からの情報提供</li> <li>● 作業部会委員、編集委員の選出</li> <li>● 年間スケジュールの確認</li> <li>● 29年度の検討課題と今年度の検討課題の確認                          ①おた障がい施策推進プランの着実な実施に向けて②就労支援ネットワークづくり③就労継続支援B型での働き方について④多様な働き方の検討⑤就労定着支援事業の開始を迎えて</li> </ul>
第2回 6月18日(月) 15時00分～17時00分 (於：本庁舎901会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各委員・各ネットワーク・事務局からの情報提供</li> <li>● 年間スケジュールの再確認</li> <li>● 今年度の検討課題について</li> <li>● 合同部会についての検討</li> <li>● 公開セミナーについての検討</li> <li>● 前おた障がい施策推進プランについて</li> <li>● 次期おた障がい施策推進プランについて</li> </ul>
第3回 7月17日(火) 9時30分～11時30分 (於：蒲田地域庁舎小会議室1) ゲストスピーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各委員・各ネットワーク・事務局からの情報提供</li> <li>● 全体合同部会、子ども部会との合同部会について</li> <li>● 検討課題「福祉的就労を考える」                          就労継続支援B型を取り巻く環境が、どのように変化してきたかを区内就労継続支援B型事業所職員より情報提供を受けた</li> </ul>
第4回 9月14日(月) 15時00分～17時00分 (於：蒲田地域庁舎小会議室1) ゲストスピーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各委員・各ネットワーク・事務局からの情報提供</li> <li>● 全体合同部会の振り返り</li> <li>● こども部会との合同部会についての検討</li> <li>● 検討課題「高校卒業後の福祉的就労について」                          当事者の保護者(家族)より、高校卒業後の進路として福祉的就労を選ぶにあたり、苦勞したことや困ったことを経験談として話していただいた</li> </ul>
第5回 10月22日(月) 10時00分～12時00分 (於：蒲田地域庁舎大会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各委員・各ネットワーク・事務局からの情報提供</li> <li>● 検討課題「障がいのあるこどもの働くについて」                          こども部会委員にもご参加いただき、グループワークを実施</li> </ul>

作業部会開催日：5月14日(月)、6月4日(月)、7月9日(月)、  
8月27日(月)、10月1日(月)

### 【就労支援部会の活動】

就労支援部会は就労支援事業所や学校からの視点だけでなく、触法、高次脳機能障害、生活困窮など様々な背景への支援に携わる人の視点を交えて課題検討をしています。これまで障がいのある人の一般就労、それに伴う地域課題や施策について取り組んできました。昨年度末には、いわゆるグレーゾーンの人の現状を知るため、若者支援の視点を取り入れています。

今年度は、就労継続支援 B 型事業所をはじめとする就労支援機関のあり方に着目し、“働く”ということについて、立ち戻って検討しています。

### 【今年度の検討課題】

#### ① 「就労支援ネットワークづくり」

若者支援、引きこもり支援、普通高校、サポート校、大学、フリースクール等との連携模索、グレーゾーンの方への支援、医療機関との連携の模索

#### ② 「就労継続支援 B 型での働き方について」⇒「福祉的就労を考える」

「福祉施設から一般就労へ」と計画でも掲げられているが、就労支援の役割は就労継続支援事業所から就労移行支援事業所に移りつつある。今、求められる就労継続支援とは？就労継続支援事業所の役割とは何か検討したい。

#### ③ 「多様な働き方の検討」

短時間雇用、アルバイトと福祉サービスの併用など

#### ④ 「就労定着支援事業の開始を迎えて」

障害者総合支援法就労定着支援事業開始後の状況把握

課題②に関連して

ゲストスピーカーによる報告

第 3 回 専門部会 就労継続支援 B 型施設の施設長会からの報告

第 4 回 専門部会 大田区立就労継続支援 B 型施設利用の家族からの報告

課題①に関して

10 月 22 日 こども部会とのコラボ企画

「障がいのあるこどもの働くについて」グループワークを通して交流を深めます。

### 【後半以降の検討内容】

\* 多様な働き方の検討 一般就労、福祉的就労、余暇支援など

\* 就労定着支援の開始を迎えて



大田区自立支援協議会 こども部会  
活 動 内 容 報 告 書

<開催経過と内容>

日 時	主な内容
第 1 回 5 月 25 日 (金) 9 時 30 分～11 時 30 分 (於：蒲田地域庁舎小会議室 1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年度の取組についての確認</li> <li>● 各委員・オブザーバー・事務局の自己紹介</li> <li>● 年間スケジュールの確認</li> <li>● 今年度の検討課題の確認</li> </ul>
第 2 回 6 月 15 日 (金) 9 時 30 分～11 時 30 分 (於：消費者生活センター第 6 集会室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今年度の検討課題について意見交換                ①発達支援マップの実用に向けての検討②地域課題の検討・解決(多機関連携・重症心身障がい児・医療的ケア児の地域生活)②児童発達支援ネットワークとの連携④おおた障がい施策推進プランの確認</li> </ul>
第 3 回 7 月 6 日 (金) 9 時 30 分～11 時 30 分 (於：本庁舎 902 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サポートブックかけはしの成り立ちの確認</li> <li>● 発達支援マップ作成の目的の確認</li> <li>● おおた障がい施策推進プランの内容確認</li> </ul>
第 4 回 9 月 14 日 (金) 9 時 30 分～11 時 30 分 (於：本庁舎 901 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 合同部会の振返り</li> <li>● 後期部会活動の内容・進め方についての検討</li> </ul>
第 5 回 10 月 5 日 (金) 9 時 30 分～11 時 30 分 (於：本庁舎 902 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事例検討                こどもの生活支援・教育に関する多機関連携について</li> </ul>

作業部会開催日：5月11日(金)、6月5日(火)、6月20日(水)、  
9月6日(木)、9月19日(水)

### 【こども部会の活動】

今年度のこども部会は、一昨年度より継続して作成してきた「発達支援マップ」を、実際の現場で活用することを目標に、検証や試行活用する機会の検討をしています。各制度を利用される方々への一助となるために、検証を続けていきたいと思ひます。

また、「障がい施策推進プラン」や「子ども・子育てかがやきプラン」の確認や、委員の同士の情報提供と意見交換も実施しています。

さらに、後半については「地域課題の検討・課題解決」に向けた事例検討や、「児童発達支援地域ネットワーク会議」との合同研修会も引き続き計画してあります。

この地域に暮らす子どもたちとその家族が、安心して暮らせるためのひとつの力となれるような活動としていきたいと思ひます。

### 【今年度の検討内容】

- ① 「発達支援マップの実用に向けて」  
発達支援マップの内容の検証の継続  
発達支援応援フェア等での試行実用⇒アンケートを行い検証予定
- ② 「事例検討」  
「子どもが地域で生活する」ための多機関連携について～「わたす」視点で～
- ③ 「地域課題の確認」  
重度心身障がい児・医療的ケア児の地域生活に関する情報提供
- ④ 「児童発達支援地域ネットワーク会議との連携」  
合同研修会の企画・実施
- ⑤ 「障がい施策推進プラン、子ども・子育てかがやきプランの確認」  
部会での連携・協働の視点で確認を行う

#### 検討①に関連して

サポートブック「かけはし」の活用も含め、発達支援マップとかけはしを作成した背景や経過について確認を実施した。

#### 検討⑤に関して

部会にてそれぞれのプランの読み込みを行い、各委員が関心のある項目から、部会活動と連携・協働が行えそうな内容について、シートに集約。

### 【後半以降の検討内容】

検討②：事例検討を実施

⇒新たな視点や社会資源の発見・部会としての検討課題の発掘

検討③：ゲストスピーカーによる実態把握、課題の整理を行う

検討④：12月に実施予定⇒防災をテーマに実施内容を検討中

## 活動内容報告書

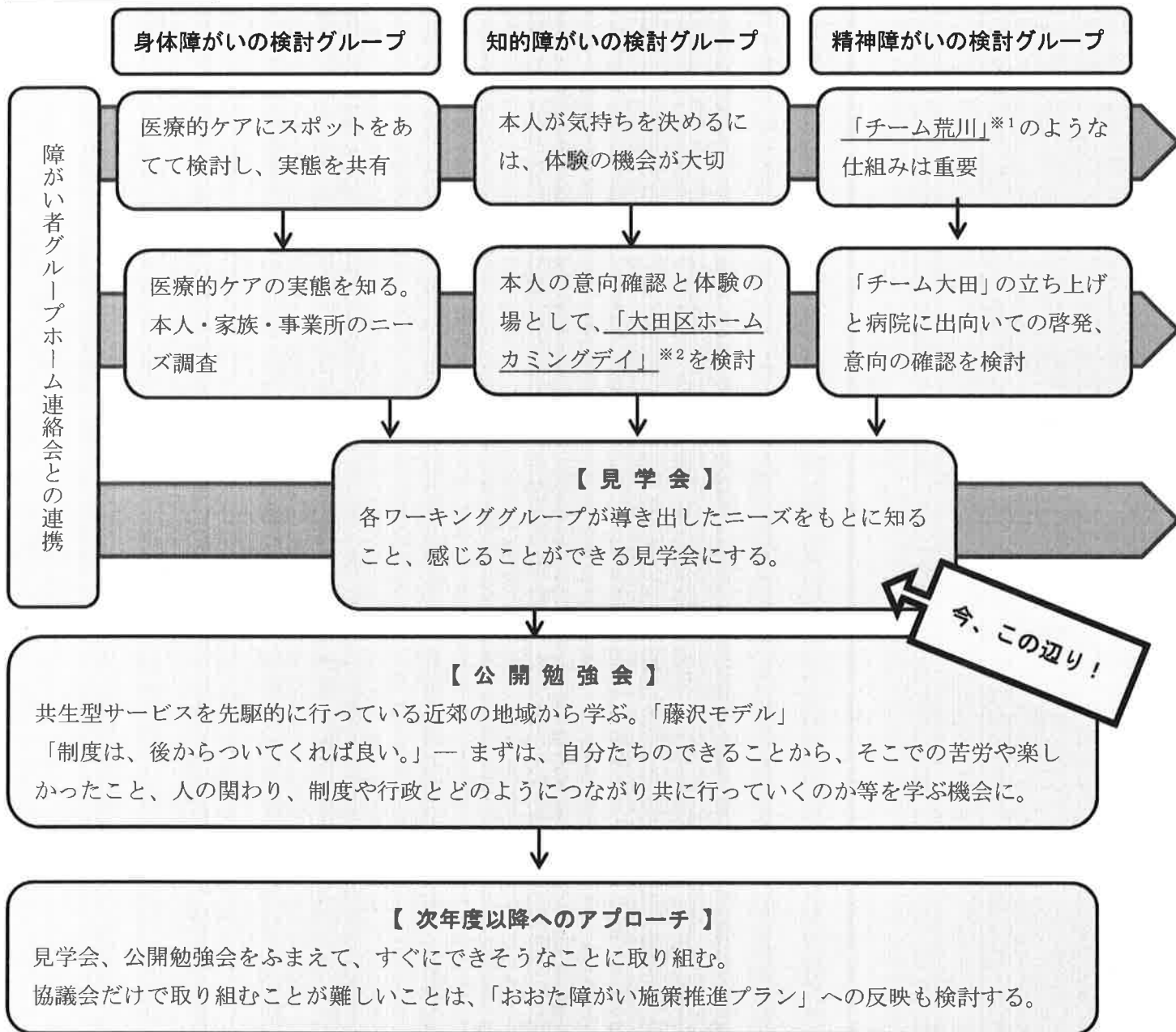
### <開催経過と内容>

日時	主な内容
第1回 5月18日(金) 10時00分～12時00分 (於:さぼーとぴあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年間の経過を振り返り、取り組みを共有</li> <li>● 今年度の進め方と年間スケジュールの確認</li> </ul>
第2回 6月15日(金) 10時00分～12時00分 (於:さぼーとぴあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公開勉強会の開催に向けた検討</li> <li>● 障がい者施策推進会議に向けた今までの取り組みの確認</li> <li>● 事例検討①                          &lt;テーマ&gt;                          「多摩市にいる方の大田区に戻りたい想いを受けて」                          ・身体障がい、知的障がい、精神障がいのグループに分かれて検討</li> </ul>
第3回 7月13日(金) 10時00分～12時00分 (於:さぼーとぴあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公開勉強会の講師候補の共有</li> <li>● 見学会候補先の全体共有</li> <li>● 事例検討②                          ・前回抽出した課題・解決策・主体的に取り組む人を改訂した課題解決整理表(私ができることの視点を追加)に集約</li> </ul>
第4回 8月17日(金) 10時00分～12時00分 (於:さぼーとぴあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公開勉強会の実施に向けた具体的な動きの共有</li> <li>● 事例検討③                          ・3障がい共通の視点とその他の視点から、課題解決整理票を深める                          ・各チームの検討を踏まえ、見学会の候補先の抽出</li> </ul>
第5回 10月12日(金) 10時00分～12時00分 (於:さぼーとぴあ多目的室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公開勉強会の役割分担決め</li> <li>● 事例検討④                          ・3つの障がい別グループの動きを全体共有                          ・見学候補先の絞り込み                          ・今年度の到達点と、次年度の引き継ぎ内容を整理</li> </ul>

作業部会開催日: 6月6日(水)、7月5日(木)、8月1日(水)、9月28日(金)

私たちは、前年までの3年間は、障がいの特性ごとに深めることはせず、様々な背景をもつ委員でグループを作り、その都度、検討してきました。そのため、関わった委員の方たちは、それぞれ新しい知識を得ることはできても、それぞれが深く課題を検討しきれないという問題も出てきました。そのため、今年度は、三障がいごとのワーキンググループを組むことしました。身近で大きな課題を各障がいごとのグループでクローズアップしていき、次のように課題へアプローチを進めていきました。

## 今年度の流れ



【注釈】※1 「チーム荒川」：事業所と行政のチームで病院に向き地域移行の周知等を行う荒川区の取組。

※2 「大田区ホームカミングデイ」：施設に入所して大田区でのくらしに興味のある方に大田区の今を知ってもらう取組。

## 「全体合同部会」の報告

9月4日（火）さぼーとぴあで、大田区自立支援協議会の新しい取り組みである「全体合同部会」を開催しました。運営会議で企画、準備をし、今年度のキャッチフレーズである『きなるのくらしへ～つながる、わたす、ひろげる～』をテーマにかかげ、協議会に関わるすべての委員、のみ委員の皆様によびかけをしました。当日は76名の参加者があり、会場は活気であふれていました。

全体合同部会は、まず白井会長より、開催にいたるまでの経緯と、この会の目的について話があり、参加者全体で共有をしました。つづいて各専門部会の部会長と運営会議の委員が「つながる」「わたす」「ひろげる」をキーワードに、それぞれエピソードを報告しました。そして、いよいよグループワークがスタート。専門部会の枠をとりはらい、所属や立場をこえ、協議会に関わるひとりとして、自分が関心をもったテーマにわかれ、5～6人の小グループで意見交換をしました。なぜこのテーマを選んだのかを語ることで自己紹介をしたのち、専門部会や、所属先での業務や活動をとおして日頃感じていることなどについて、ファシリテーターの進行で話し合いました。グループワーク終了時には、内容をポスターにまとめて、会場内に掲示しました。そして、他のグループのポスターを各自で自由に見て回る時間を設けました。この間にも、あちらこちらで自然と交流が生まれ、名刺交換をするなど和やかな様子が見受けられました。しめくくりとして、ふたたび白井会長から、この全体合同部会で委員、のみ委員が顔を合わせたことで、新しくつながり、わたし、ひろがることのできる交流の場になったこと、話し合いの内容は、次の運営会議で検討し、第2回本会において討議することができるよう引き継いでいくことなど、まとめがありました。

後日、参加者アンケートを集計した結果、全体合同部会の開催については、「よかったと思う」、内容については、「満足できるものだった」という回答が多数でした。また、参加者から寄せられた意見感想からは、次にあげる、各専門部会にもちかえりたいテーマが見えてきました。①ライフステージの時間軸で生じるきれめ②現在の福祉サービスにあるすきま③つながる、わたす、ひろげることは、まず知るということ

以上の内容をふまえ、第2回本会では、各専門部会、運営会議、大田区からの報告のほかに全体合同部会のふりかえりを行い、テーマを深めるための意見交換を予定しています。運営会議では、全体合同部会の内容をしっかりと受け止め、本会で、委員の皆様にも活発に発言していただくことができるよう準備していきます。

障がいのあるなしにかかわらず、大田区でともに生きること。その人らしいきなるのくらしがひろがり、つながることのできる糸の先を増やし、その糸を太くしていくことでネットワークをつくること。11年の大田区自立支援協議会において、新たな一步をみんなでふみだした全体合同部会であったと思います。

大田区自立支援協議会 副会長 山根 聖子

## 大田区自立支援協議会 合同部会参加者アンケート集計

### ■ 1. 今年度、合同部会を開催して良かったと思いますか？

はい (54)    いいえ (0)    どちらともいえない (0)

### ■ 2. 本日の合同部会の内容について

#### □ とても満足できた (22)

- ・様々な立場からの意見をもらう事が出来、自立支援に向けてとても参考になりました。
- ・他部会との交流。グループメンバーの構成がよかった。
- ・いろいろな立場の方と情報交換ができた。
- ・様々な人達と知り合う事ができた。
- ・他の部会員とのつながりができました。
- ・多くの方々のパワーを感じ、沢山の方が支えているのだと実感しました。
- ・グループワークの内容について、全体でも共有化でき、とても有効的でした。共有する時間をもう少し欲しかったです。
- ・知った顔、知らない顔、人との出会いは貴重だと思いました。
- ・色々な分野の方と話ができたのがよかった。
- ・テーマだけを見ると、う～んと悩んだが活発に意見の交換ができた。
- ・いろいろな専門の方のお話がきけて良かった。
- ・参加したことで、「知る」ことができた。  
つながりたいという思いは、まず知ることが大切と理解できました。
- ・話をして広がりを感じました。
- ・当事者の方、親子さん、支援者、教育者と多面的な意見が伺えた。
- ・テーマが細かすぎず、良かったです。(だれでもがそれぞれの立場で考えられるので)
- ・テーマも誰もが考えやすく、場を作れたことがまずは良かった。
- ・各障がい種別、各部会、1人1人の背景の違いはあっても、その根にある感覚をすりあわせるきっかけとなるテーマを設定して下さった。
- ・会長はじめ普段話せない方とも話題の共有ができた。

#### □ 満足できた (31)

- ・色々な方々のお立場をより、参考になった。
- ・他部会の考えを共有でき有意義であった。
- ・それぞれの希望・意向でテーマを選んだ上でグループワークができたので、話が見えやすかった。
- ・他の部会の方がどのような人達で構成されていて、こういった雰囲気の中、活動されているのかわかって良かったです。
- ・色々な立場からの思いや、状況を聞くことができ、貴重な時間になった。明日から活かせる、立ち返る機会となった。

- ・“わたす”時の準備や心構えを再認識できました。“つながる”ことの大切さと、そこから生まれる「プラス」を考えることは、欠かせないと感じます。
- ・所属部会の人達の意見交換が出来た。
- ・意見交換ができてよかった。
- ・色々な立場からの意見がきけ、部会毎に違う点が面白かった。
- ・役割の違う方々と、一つのテーマで話をし、色々な視点で考えることができた。
- ・いろいろな立場の方の声を伺うことができた。
- ・全体での合同について、交流が必要。
- ・多勢の参加がありよかったです。
- ・もう少しテーマがしぼられてもよかったとも思いますが、この大きなテーマだからこそ関連するいろいろなご意見も伺えた。
- ・いろいろなお話を聞いたのが良かった。
- ・他部会の方と色々な話をする事が出来ました。
- ・自分の発言もしっかりと聞いていただき、理解が得られたことは嬉しい。
- ・グループ内の皆さんのお話が伺えたので。
- ・グループ話してよかった。
- ・グループワークでいろいろな意見が伺えるのは楽しかったし、他のグループの意見を見る事ができて良かった。
- ・グループ発表の時間がほしかった。(各グループの説明を最後にしてほしい)
- ・部会を超えて交流できたことで新たなつながりができました。
- ・他の部会や関係の方と顔見知りになることの大切さを感じました。
- ・それぞれが感じている問題や課題を知ることができた。
- ・他の部会の方々の意見を聞くことができた。

あまり満足できなかった (0)

満足できなかった (0)

チェックなし (1)

- ・①当事者不在、②グループ内で話している声が聞こえにくかった。(隣と近い?)

### ■ 3. 合同部会でグループワークに参加した感想をお聞かせください。

- ・身近に各部会の方々と話が出来て良かった。
- ・テーマを他部会と多面的にディスカッションできて良かった。
- ・色々とお話が出来、色々な意見を聞くことができ、これからの活動に参考にしていきたいです。
- ・多彩な方々と話して、多様な考え方に触れられたことは、財産になると思いました。
- ・いろんな立場の方と、同じ悩みを共有でき、話が明日の仕事をがんばる活力になりました。「支援者を支援する」というひろがりもテーマにあがっていて、このような集まりが自分を元気にしてくれるんだと思いました。

- ・色々な立場からの思い、状況を聞くことができ、貴重な時間になった。明日から活かせる、立ち返る機会となった。
- ・「様々な立場からの意見をもらう事が出来、自立支援に向けてとても参考になりました。」と同じ様な話しになりますが、色んな人達と出会えたのでここからつながっていったらと思います。
- ・話がそれない様にすることは、難しいことですが、話したいことを言うことから何かがつかめることもあるので、もう少し話す時間があればよいと感じます。
- ・放課後等デイサービスの18才問題で節目でのつながりの重要性。
- ・様々な人、機関の一部だが情報交換ができた。
- ・グループで話し合うというのは個々の「人」がわかるのでよかったと思う。
- ・人数などもちょうど良く、発表がなかったため、リラックスして色々な意見が上げられたと思う。
- ・たくさんの方が集まり関心が高いと思いました。
- ・新しい情報をたくさん聞くことができてよかった。
- ・色々な考えを聞かせていただいた。
- ・他の部会の方と話すことができたことが良かったです。
- ・いろんな話が聞けて参考になった。
- ・各部会からの意見や思いがきけて良かったです。
- ・自分の知らない事を知る機会になった。
- ・いろんな立場の方と同じフィールドで、異なった視点を知ることができた。今日得た御縁を生かしていきたい。
- ・話せる内容が広いテーマなので、ざっくばらんに話せて良かったです。
- ・日頃、思っていたことを、グループで別の立場の方からの言葉で話して頂き嬉しかったです。
- ・色々な立場の意見が聞けて良かったです。
- ・多職種の、いろんな立場の方の現状を知ることができ、ご意見を伺えて勉強になった。
- ・良かった。
- ・様々なメンバーの方々の方々の視点からお話が伺え、1つのテーマに話し合うことができて勉強になり、良かったです。
- ・とても楽しいグループワークが出来ました。
- ・色々な考えがあり、話ができて勉強になりました。
- ・いろいろな方の意見が聞けてよかった。
- ・つながる、わたす、ひろげるに関し、他グループも含め、多くの意見が聞けたのがよかった。
- ・他部会の人と共通のテーマで話すことができた。
- ・部会、関心領域を越えてのつながりは貴重な機会でした。
- ・いろいろ異なる立場の方々と話が盛り上がり良かった。
- ・お立場の異なる皆さんと情報を共有、交換できたことは大変有意義でした。シートに落としこむ時に、十分、お話しを反映できない方もいらして申し訳なく感じます。
- ・グループワークでいろいろな意見を伺えるのはとても楽しかったし、他のグループの意見を見る事ができて良かった。



- ・立場の違う人が同じテーマに添い、意見を言い合う中で、少しずつ核となる項が見えてきたように思う。成果が見えにくくても、考えることにすごく意義のある会で満足している。
- ・楽しかった。勉強になった。
- ・それぞれの立場でのお話をお聞きすることで、まず一步めの「知る」ことができました。グループワークの中で、色々な分野、お立場のお話をどう受けとめ、自分の役割として活かしていくか考えました。
- ・大勢の参加で様々な立場の方たちと活かしたことはよい機会となりました。
- ・グループメンバーに色々な業種の方がいて、それぞれの課題、改善点を聞くことができて勉強になりました。
- ・様々な部会の立場の方と情報として共有できたのはよかったと思います。
- ・他部会の事情、状況を知ることができ、とても勉強になりました。「わたくし」と一言に言っても、相談支援・防災・こども・就労・・・それぞれの視点がおもしろかった。
- ・“一つのキーワード”に対して、自分の考えとは異なる意見が知れて、良かった。今後に活かしたい。会場がザワつき、発言内容が聞こえにくかった・・・。
- ・他者視点を学べて大変有意義だった。
- ・さまざまな立場の方とお話しできて、とても良かったです。
- ・テーマから思わぬ方向の意見がでてきて、やってみるものだと思います。
- ・日ごろ別の分野でも同じような思いでがんばっていることがわかりうれしかった。
- ・出会いに感謝です。
- ・多方面の方の参加により、今まで知らなかったこと（現場の声等）を知ることができました。まずは「知る」ことが大切だと感じました。
- ・所属部会のみでは、テーマが限定されてしまい、展開しづらいような話題も、周囲に共有してもらうことができた。
- ・他の部会の方からの目線での考えを聞くことができ、良かったです。

#### ■ 4. 合同部会に参加し、部会に持ち帰りたい話題がありましたらお聞かせください。

- ・時間の経過によって変わること。点と点の結び付きだけでなく面の部分でもつながること。途切れない支えの構築をどのようにするか。
- ・それぞれのテーマを基に、つながりを意識して行きたい。
- ・相談のしきいの低さ。
- ・地域で生活していく上でライフステージの変化による課題について。（サービスのつながり）
- ・グレーゾーン、空白部分をどう埋めるか、どう対応しているかを検討していければ
- ・どのテーマでも、相手を理解しないといけないと感じた。
- ・移動支援の問題点。
- ・防災に関すること。
- ・理解を広めるを行動にすること。
- ・既存の制度のひろがり。
- ・節目での問題（18才や65才）、計画相談の必要性。

- ・介護保険について。
- ・障害種別、有無に関係なくつながれる場や機会について
- ・各部会の事。
- ・つながる（知る）ための仕組みづくり。
- ・現在から先を見通す大切さ（情報）を持ち帰りたいです。
- ・つながることは知ること、を持ち帰ります。1対1のつながり→円のつながりへのきっかけをつくることをやってみたいと思いました。
- ・つなげて、広げる、繰り返すですね。
- ・計画相談事業所の不足→計画に対応できないという問題は深刻だと思いました。
- ・18歳児童→次のステップへの移行。情報を「わたす」際、引き継ぎ期間を制度として確立できたら・・・。
- ・学校卒業から就労への流れの中で「わたす」、「わたされる」双方の話、それに伴う事業所の報酬制度について。
- ・「つながる手段として何でもいから渡すことの大切さ」、「失敗することも権利」、「子ども時代の制度を知らない方が多いこと」。
- ・聴覚障がいを持つ人が就労し、手話通訳がいなくて清掃など簡単な仕事に限られる等知らなかった話題を知れた。
- ・ライフステージごと、話題ごとで「切れ目」の生じるのが現行の支援制度。さらに、制度にもつながらない方を、総合的にキャッチしていく地域の体制づくり。

■ 5. もしまたこのような企画をするとしたら、どんな時期・時間がよろしいですか？

(重複回答あり)

(時期)

年度初め (6) 年度中間 (29) 年度末 (4) 欄外記入有 (月末以外、夏休み期間中)  
月上旬 (4) 月中旬 (5) 月下旬 (1) いつでもよい (15) 未記入 (2)

(時間)

10:00～12:00 (33) 13:30～15:30 (2) どちらでもよい (15) 未記入 (6)

■ 6. 合同部会について、ご意見ご感想がありましたらお聞かせください。

- ・全体会と違った特にテーマを決めなくてもその中から課題が見つかって、話し合っていけるので良かった。
- ・有意義な時間ありがとうございました。
- ・たくさんの方が参加され、皆、利用者様の事を思い、前を向いて活動しようと考えていらっしゃるのですね。全員で連携して、大田区を住みやすい地域にしていきたいですね。
- ・来年もあるとよいと思います。
- ・引き続き続けていく事がつながりになると思いますので今後も合同部会をやってもらいたいと思います。
- ・各部会が行っている取り組みも簡潔でいいから説明が欲しかった。

- ・楽しく参加させて頂き、良い刺激になりました。準備等ありがとうございました。
- ・来年度も行っていただきたい。
- ・協議会メンバーが交流するには年度初め、テーマをしぼって話し合うのであれば年度末が良いかも。
- ・支援者や家族でなく本人（当事者）のことを考えて、話ができればよかったです
- ・せまい世界しか知りませんでした、参加させて頂けたこと、感謝しております。
- ・年度2回は難しいかな。
- ・このような形もいいですね。各部会でとりあげているテーマをあえて他部会の方にも検討いただくのもおもしろいかもしれないと思いました。
- ・本日はありがとうございました。
- ・もう少し長い時間お話出来ると良いと思います。次回まで、あまり時間をあけない方が、と思います。
- ・また合同部会をひらいてほしい。
- ・年に1回はこのような部会があっても良いと思いました。
- ・運営会議メンバー、事務局の方々、おつかれ様でした。
- ・他の部員の方々とも顔を合わせて、いろいろ話が出来たことは、自立支援協議会への参加意欲を強くすることになりました。
- ・活気のある会で、参加できてよかったです。
- ・年度中間に行う事により後半の協議会への取り組みに変化が見られるでは……。会う機会をこれからも作ってほしいです。今日はありがとうございました。
- ・また違うテーマで行っていただきたい。
- ・良い機会をいただきまして、ありがとうございました。
- ・今回はブレインストーミングのように、それぞれの状況や悩みの共有に時間をかけましたが、これで終了とせず、次回の合同部会も開催して、より、課題・改善策などをまとめることができれば、より有意義な会になっていくと思いました。
- ・もう少しつつこんだ話ができる機会が可能ならほしい。「部会」というより、「勉強会」という印象が残った。でも、良かったです。
- ・この様な機会を頂き本当にありがとうございました。
- ・準備等本当にありがとうございました。とても濃い時間をすごせました。
- ・グループワークの交通整理をしてくださる方がいらっしやっただので、話し合いがスムーズに進みました。
- ・ざっくばらんな雰囲気、進行していただいたので、気楽に楽しめました。顔がつながるのが何よりです。
- ・また合同部会があれば、参加させていただきたいです。のみ委員にも参加・発言の場をいただき、ありがとうございました。